

6. 令和5年度学校運営連絡協議会実施報告書

第1 組織

- (1) 都立新宿高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 主幹教諭(総務主任兼務)=事務局長、総務部員4名 計5名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、教務部主幹教諭、進路指導部主任教諭、生活指導部主幹教諭
計6名
- (4) 協議委員の構成
教育関係者4名(中学校長、大学教授、予備校、学習塾関係者)、地域関係者(近隣施設長)2名
保護者代表(旧PTA会長)1名、同窓会代表1名 計7名

第2 令和5年度学校運営連絡協議会の概要

I 学校運営連絡協議会

第1回 令和5年7月8日(土)開催

- (1) 校長挨拶及び委員委嘱
- (2) 令和4年度学校経営報告・令和5年度学校経営計画及び本校の教育活動の概況
- (3) 本校の現状と課題を書面で報告(教務部・進路指導部・生活指導部各主任)
- (4) 本校の教育活動についての意見交換

第2回 令和5年11月25日(土)開催

- (1) 令和5年度学校経営中間報告(校長)
- (2) 本校の現状と課題(教務部・進路指導部・生活指導部主任)
- (3) 学校評価委員会「令和4年度学校評価アンケート」内容の検証、提起と検討
- (4) 本校の教育活動についての意見集約依頼

第3回 令和6年2月10日(土)開催

- (1) この1年を振り返って(校長)
- (2) 本校の現状と課題(教務部・進路部・生活指導部各主任)
- (3) 学校評価委員会 「令和4年度学校評価アンケート結果」報告と学校への提起
- (4) 本校の教育活動についての意見交換

II 評価委員会

第1回 令和5年11月25日(土曜) 内部委員2名、協議委員3名

学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察
今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討

第2回 令和6年2月10日(土曜) 内部委員2名、協議委員2名

アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理、評価報告書(原案)の検討

第3 学校運営連絡協議会による学校評価(学校評価報告)

1 学校評価の観点

- (1) 教育目標の達成のため、本校がその教育機能をどの程度果しているかを確認する。
- (2) 評価結果を踏まえ、令和5年度の学校経営方針に反映し教育活動の改善に役立てる。
- (3) 総合的かつ客観的な評価結果を得るよう努める。

2 アンケート調査の実施時期・対象・規模

- | | | | | | |
|-----|-----|-------|------|--------------|------------|
| (1) | 12月 | 生徒 | 958人 | (回答者数: 549人) | 回答率: 57.3% |
| (2) | 12月 | 保護者 | 958人 | (回答者数: 643人) | 回答率: 67.1% |
| (3) | 12月 | 学校教職員 | 69人 | (回答者数: 38人) | 回答率: 55.1% |

3 主な評価項目

- (1) 学校運営 学校の教育目標はわかりやすく示されているか。
- (2) 学習指導 学習指導が工夫されているか。
- (3) 生活指導 生徒が基本的な生活習慣を身に付けられるような適切な指導が行なわれているか。
- (4) 進路指導 適切な進路情報の提供に努めているか。
- (5) その他 学校と保護者との連携は良好であるか。

4 評価結果の概要及び分析・考察

全般

令和3年度より学習支援クラウドサービス(Classi)により実施している。Classiの運用が定着してきたこともあり、未回答者に対する督促などを特に行わなかった結果、生徒の回収率は大きく低下し、保護者の回収率も低下した。回答期限を延長する対応を行ったが、回収率の上昇にはつながらなかった。教員向けのアンケートは紙で実施した。こちらも回答期限を延長する対応御行ったが、回収率は大きく低下した。アンケート回収率を改善させるために強力な対策が必要である。

アンケート項目は経年比較を行うため、昨年と全く同じとした。教育委員会が指定する「教職員のライフ・ワーク・バランス」については引き続いて回答が難しいという意見が自由意見で寄せられた。アンケート結果は全ての項目について概ね80~95%が肯定的な意見(「そう思う」「ややそう思う」の割合の合計)を占めていた。

以下、回答における肯定的回答を中心に近年のものと比較して全般的に分析する。

学校生活

生徒は【目指す学校像への努力】、【いじめをなくす積極的取組】に対する肯定的評価が80%程度で、他項目と比較すると若干低評価であった。同項目については保護者の肯定的評価も90%には達しておらず、他項目と比較すると低評価となっている。【…学校像…】については質問項目にもある「全員指導者たれ」を意識した指導を様々な場面で行っているが、今後は指導に合わせて文言を発信する工夫を加えることを検討していきたい。【いじめ…】については生徒間の衝突に悩みを持っている生徒への対応に、まだまだ改善の余地が残っている状況があると受け止め、令和5年度より運用が始まったコンディションレポート(生徒が個人端末から担任等に向けてメッセージを送信できるシステム)等を活用するなどして改善につなげていきたい。

学習

【予習・復習】に対する生徒の肯定的(自己)評価が90%以上であるのに対し、保護者は他のすべてのアンケート項目の中で唯一跳びぬけて低い65%程度となっている。自主学習・自宅学習の量を確保することを目的とした予習等の課題を課しているが、その分量については生徒の負担を考慮して近年は減少をさせている。生徒としては十分に行っているという自負を持っているようであるが、保護者としてはまだまだできる余地があるように見えているという状況ととらえられる。自主学習・自宅学習の分量については定期的に見直しを行ってきたい。

進路指導

2年生について【相談機能】、【本人、保護者との連携】の肯定的項目が他と比べて明らかに低くなっている。2年生は進路選択に向けた具体的な対応が大きく動き始める時期であり、より一層の対応が求められていると受け止め、改善していきたい。

生活指導

2項目とも2年生の肯定的評価が他と比べて明らかに低くなっている。要因は様々であると考えられるが、自由意見欄では頭髪の染色に関する不満が多くみられた。引き続き生徒とともに考え、対応していきたい。

その他

【ライフ・ワーク・バランス】に関して、どう回答してよいのかわからないという声が引き続き多く寄せられている。数多く寄せていただいた自由意見について、保護者からはその内容のほとんどが学校への感謝、励ましなどであったが、生徒からはかなり具体的な要望が多かった。これら生徒からの具体的な要望について、委員からは意見の一つとして今後の学校運営の参考にするよう助言をいただいた。

第4 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 8人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
8						

第5 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び学校運営連絡協議会の成果等

1 参加実績 職員会議：0回・延べ0人、 企画調整会議：0回・延べ0人、

2 成果等

・今年度は残念ながら参加は無かったが、学校運営等に関して保護者代表や地域からの意見を直接聴取する貴重な機会として、今後も引き続き協議委員の参加を依頼していく。

第6 その他

・大きく低下してしまったアンケート回収率を高めるため、依頼方法や実施方法を見直す。